

2024（令和6）年度

1日[\*]

地理歴史（世界史）

注 意

1. 監督者の指示があるまでは、問題を見ないこと。
2. 問題は声を出して読まないこと。
3. 問題は18ページ、**①**、**②**、**③**、**④**の4問から成っている。
4. 問題や解答用紙に落丁、乱丁、汚損あるいは印刷不鮮明の箇所などがあれば、手をあげて監督者に申し出ること。ただし内容に関する質問は受けつけない。
5. 解答は**マーク式**と**記述式**がある。解答は必ず**黒色鉛筆**を使用し、マーク式の場合は解答用紙の所定解答欄の記号に**マーク**すること。
6. 訂正箇所は、消しゴムで**完全に消す**こと。
7. 解答に関係のない符号（?レなど）は記入しないこと。
8. 解答用紙を**折ったり汚したり**しないこと。

1 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

前近代の東アジア世界では、朝貢をもとにした外交が行われ、中国を中心とした独特の国際体制が形成されていた。諸国は中国に対して、漢文の外交文書を作成し貢物を送り、中国の皇帝はこれに対して、印綬や返礼品、爵位などを与え、君臣関係を形成した。こうした体制を冊封体制という。

日本列島では、倭の五王が中国の南朝<sup>(1)</sup>に使節を派遣し、冊封を受けた。このうち、倭王の武は「使持節、都督倭・新羅<sup>(2)</sup>・任那・加羅・秦韓・慕韓六国諸軍事、安東大將軍、倭王」として、冊封を受けたことが歴史書に記録されている。その後明代にも足利義満が冊封を受けたことが知られる。実際に ① 年に足利義満は南北朝を統一し、明と勘合貿易を行った。

朝鮮半島では古代より高句麗・百済・新羅などが朝貢を行い、中国の王朝から冊封を受けた。高麗を建てた王建は ② の冊封を受け、また遼<sup>(3)</sup>（契丹）とは対立した。960年に ③ が成立した後も高麗国王は中国の皇帝から冊封を受けることになり、元代には帝室と姻戚関係を結ぶこともあった。元の衰退以降、高麗では北元と明に対する外交方針で国内の対立が生じ、そのなかで当時倭寇を禁圧した李成桂が名声を得て、 ① 年に<sup>きょうじょうおう</sup>恭讓王から禅讓を受け朝鮮王朝を建てた。李成桂は現在のソウルである ④ に都をおき、明との関係を改善して冊封を受けた。

ほかにも、琉球<sup>しゅうたいきゅうおう</sup>やベトナムの国王も明の冊封を受けた。琉球では、尚泰久王が<sup>(4)</sup>鑄造させた万国津梁<sup>ばんこくしんりょう</sup>の鐘の銘文が、<sup>(5)</sup>15世紀中葉の琉球王国が当時の海上交易の要として機能したことを伝える。また、ベトナムでは ④ が明の支配から独立して王朝を建てており、この王はすぐさま明との関係を修復して冊封を受けたことが知られる。

東アジア諸国では、朝貢と冊封を通じた外交とともに文字や思想の交流も進んだ。中国で発達した表意文字<sup>(6)</sup>である漢字は、日本や朝鮮半島、ベトナムなどへと広がり、異なる言語を使用する諸地域を結び付け漢字文化圏を形成した。漢字文化とともに中国の政治思想としての儒教も諸国に伝わり、儒教は政治に活用されることになった。たとえば、高句麗では<sup>しょうじゅうりんおう</sup>小獸林王が儒学を修める教育機関であ

る太学を設置した。日本でも厩戸王が十七条憲法や冠位十二階などを制定した。また、も、中国文化の影響を受けて、六部の制度を導入していった。すなわち、東アジアの諸国は、外交を通じて漢字文化や儒教思想を取り入れ自国の制度を整備していった。

設問1 文中の空欄  にあてはまる都市名を漢字で書きなさい。

設問2 文中の空欄  ～  にあてはまる数字や語句を以下の語群から選びなさい。

[語群]

- |            |          |
|------------|----------|
| ① (ア) 1332 | (イ) 1392 |
| (ウ) 1402   | (エ) 1404 |
| ② (ア) 魏    | (イ) 後唐   |
| (ウ) 隋      | (エ) 韓    |
| ③ (ア) 北宋   | (イ) 周    |
| (ウ) 金      | (エ) 晋    |
| ④ (ア) 李朝   | (イ) 阮朝   |
| (ウ) 黎朝     | (エ) 広南王国 |

設問3 下線部(1)に関して、王朝の成立の順序として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 陳→宋→齊→梁
- (イ) 齊→梁→陳→宋
- (ウ) 梁→陳→宋→齊
- (エ) 宋→齊→梁→陳

設問 4 下線部(2)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 新羅は両班と呼ばれる身分を重用した。
- (イ) 新羅は靺鞨人と高句麗の遺民を統合して建国された。
- (ウ) 新羅は現在の光州市に金城という都をおいた。
- (エ) 新羅は6世紀半ばに加耶（加羅）を滅ぼした。

設問 5 下線部(3)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 遼は半農半牧の民族であり、北方民族として本拠地を保ちながら中国内地も支配した最初の国家となった。
- (イ) 遼では部族制に基づく北面官、州県制に基づく南面官の二重統治体制がとられた。
- (ウ) 遼は勢力範囲の東部では、女真（女直）やタングートといった民族を支配した。
- (エ) 遼の民族であるキタイの呼称は、ロシアまで伝わり中国を意味する語となった。

設問 6 下線部(4)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 琉球は13世紀末に中山王によって統一され、首里を都とした。
- (イ) 琉球は18世紀初めに島津氏の攻撃を受けたため、日本と清の両属体制に置かれた。
- (ウ) 日本政府は日清両属を解消すべく、19世紀初めに琉球王国を琉球藩とした。
- (エ) 19世紀後半の日本政府による台湾出兵では、日清両国で琉球島民が日本人であるかが議論となった。

設問7 下線部(5)に関して、当時のアジアの実態を示す記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) マラッカ（ムラカ）王国は鄭和の遠征の拠点地となったことから国際交易都市として発展した。
- (イ) 大量の日本銀がマカオなどを經由して明に流れ込んだ。
- (ウ) 琉球王国の繁栄は、主として自国の特産品を生かした、明との朝貢貿易によるものだった。
- (エ) タウンゲー（トゥンゲー）朝やアチェ王国が胡椒や香辛料の貿易で利益を得て繁栄した。

設問8 下線部(6)に関連して、表意文字や表音文字に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 西夏文字、契丹文字、仮名文字は、漢字の影響を受けた表意文字である。
- (イ) モンゴル文字と満州文字はアラム文字の影響を受けた表音文字である。
- (ウ) ソグド文字はウイグル文字をもとに作られた表音文字である。
- (エ) 訓民正音（ハングル）は、西夏文字、契丹文字、満州文字よりも遅く作られた表音文字である。

2 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

7世紀にムハンマドが創始したイスラーム教は、その後西アジアに広がり、征服活動などを通じてヨーロッパ世界とも接触した。ベルギーの歴史家ピレンヌは西ヨーロッパ中世世界の誕生について、イスラーム勢力の進出に要因があるとし、「ムハンマドなくしてシャルルマーニュ（カール大帝）なし」ととなえた。イスラーム勢力は地中海の制海権を握り、14世紀に『世界史序説』を著した①は、「キリスト教徒は板きれ一枚も地中海に浮かべることはできない」と述べたとされる。

イベリア半島では、8世紀に②が樹立されると、北部のキリスト教徒が国土回復運動（レコンキスタ）を展開した。この過程でカスティリヤ・アラゴン・ポルトガルの3王国が建てられ、カスティリヤ王女イサベルとアラゴン王子③の結婚により、スペイン（イスパニア）王国が誕生した。スペイン王国は、1492年に④を陥落させ、イベリア半島からイスラーム勢力を駆逐した。

11世紀、ビザンツ帝国<sup>(1)</sup>支配下の小アジアにセルジューク朝が進出すると、ビザンツ皇帝はローマ教皇に救援を求め、十字軍遠征<sup>(2)</sup>が開始された。12世紀にはイスラーム勢力の支配下にあったシチリア島にノルマン人が進出して両シチリア王国<sup>(3)</sup>（ノルマン＝シチリア王国）が建てられた。これ以降、シチリア島にはアラブ人やギリシア人などの学者が集まり、盛んな文化活動が行われた。十字軍は最終的に失敗に終わったものの、十字軍を契機として東方との交流が盛んになって学問や文芸が発達した。これを12世紀ルネサンス<sup>(4)</sup>という。

13世紀末頃に小アジアに成立したオスマン帝国は、14世紀にバルカン半島に進出し、1453年にはビザンツ帝国を滅ぼした。16世紀にオスマン帝国の最盛期を築いたスレイマン1世は1529年にウィーンを包囲し、ヨーロッパ世界を脅かした。オスマン帝国は、1571年のレパントの海戦で、⑤統治下のスペインなどの連合艦隊に敗北したものの、依然として地中海における優位を保った。その後もオスマン帝国は攻勢を続けたが、⑥の第2次ウィーン包囲に失敗したことをきっかけに守勢にまわるようになった。19世紀になると、オスマン帝国は

領内の諸民族の独立運動とそれに伴うヨーロッパ列強の干渉に苦しむようになった。こうしたオスマン帝国をめぐる国際問題は、ヨーロッパ諸国側からみて「東<sup>(5)</sup>方問題」と呼ばれた。

設問1 文中の空欄  にあてはまる人物名を書きなさい。

設問2 文中の空欄  ～  にあてはまる語句を以下の語群から  
選びなさい。

〔語群〕

- |                |            |
|----------------|------------|
| ① (ア) アッバース朝   | (イ) ウマイヤ朝  |
| (ウ) 後ウマイヤ朝     | (エ) ナスル朝   |
| ② (ア) エドワード黒太子 | (イ) エンリケ   |
| (ウ) エグバート      | (エ) フェルナンド |
| ③ (ア) グラナダ     | (イ) コルドバ   |
| (ウ) リスボン       | (エ) マラケシュ  |
| ④ (ア) フェリペ2世   | (イ) フェリペ5世 |
| (ウ) ジョアン2世     | (エ) カルロス1世 |
| ⑤ (ア) 17世紀前半   | (イ) 17世紀後半 |
| (ウ) 18世紀前半     | (エ) 18世紀後半 |

設問3 下線部(1)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) ユスティニアヌス1世(大帝)は、法学者のアルクインに命じて『ローマ法大全』を編纂させた。
- (イ) ユスティニアヌス1世(大帝)の死後、イタリアはランゴバルド王国やフランク王国に奪われた。
- (ウ) 9～10世紀に、帝国を軍管区に分け、司令官に軍事と行政の権限を与える軍管区制(テマ制)が用いられていた。
- (エ) 11世紀以降、軍役奉仕の代償として貴族に領地を与えるプロノイア制が導入された。

設問4 下線部(2)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 第1回十字軍は聖地を奪回し、イスラエル王国を建てた。
- (イ) 第3回十字軍はアイユーブ朝と戦ったが、聖地奪回に失敗した。
- (ウ) 第4回十字軍はビザンツ帝国の商人の要求でヴェネツィアを占領した。
- (エ) 十字軍運動を支えるための宗教騎士団が結成され、ドイツ騎士団はドニエプル(ドニプロ)川以東に騎士団領をつくった。

設問5 下線部(3)に関して、1860年に両シチリア王国を征服した人物に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 「青年イタリア」を組織し、ローマ共和国の執政官となった。
- (イ) プロンビエールの密約を結び、サヴォイアとニースを獲得した。
- (ウ) マフディー勢力との戦いで戦死した。
- (エ) 義勇軍である千人隊(赤シャツ隊)を組織した。

設問6 下線部(4)に関連して、次のA～Cの文の正誤の組み合わせとして、正しいものを以下の中から選びなさい。

A 文芸では、口語（俗語）で表現された騎士道文学が愛好された。また、各地の宮廷で吟遊詩人が騎士の恋愛を題材とした叙情詩をうたった。

B アリストテレス哲学の影響を受けてスコラ学が発展し、『神の国』（『神国論』）を著したトマス＝アクィナスがスコラ学を大成した。

C 教会・修道院の付属の高等教育機関を起源として大学が形成された。大学は、特許状によって自治権を与えられた一種のギルド的な共同体であった。

(ア) A — 正 B — 正 C — 正

(イ) A — 正 B — 正 C — 誤

(ウ) A — 正 B — 誤 C — 正

(エ) A — 誤 B — 正 C — 誤

(オ) A — 誤 B — 誤 C — 正

(カ) A — 誤 B — 誤 C — 誤

設問7 下線部(5)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア) オスマン帝国からの独立戦争を起こしたギリシアは、イギリス・フランス・ロシアの支援を受け、ウィーン会議によって国際的に独立が承認された。

(イ) シリアの領有権を要求するエジプトのムハンマド＝アリーとオスマン帝国との間で2度にわたるエジプト＝トルコ戦争が起こった。

(ウ) オスマン帝国内のギリシア正教徒の保護を理由として、ロシア皇帝アレクサンドル1世はクリミア戦争を起こした。

(エ) ロシア＝トルコ（露土）戦争の講和条約であるトルコマンチャーイ条約は、ベルリン会議で破棄された。

3 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

アメリカ合衆国の建国は、年7月4日に採択された独立宣言に端を発する。この文書が重要なのは、単に自然法思想が明文化されているからだけではない。そもそも独立という言葉を用いて自分たちが国家であることを宣言すること自体、歴史上初めてのことだった。

七年戦争の勝利はイギリスに植民地帝国の基礎を与えたが、他方で膨大な戦費の負債も残した。そこで本国政府は、アメリカ植民地にも戦費と植民地運営費・防衛費を一部負担させようとした。17世紀初頭にに恒久的な植民地が建設されて以来、特に名誉革命後は、本国政府は基本的に植民地に干渉せず、自治を黙認してきた。それだけに、本国政府の政策転換は植民地の不満や抵抗を招いた。当初は独立するつもりがなかった植民地も、本国が態度を硬化させ武力衝突にまで発展すると、自分たちもイギリスの一部であり、本国の同胞と同じ権利を持つ<sup>(3)</sup>という論理では、もはや自由を守るのに十分ではないことを悟った。

こうして独立宣言が大陸会議で全会一致で採択される。独立宣言がなければ、<sup>(4)</sup>イギリスとの戦いは単に国内の反乱にすぎず、他国は干渉を控えざるをえなかっただろう。実際、数年後ではあったがヨーロッパ諸国がアメリカ側で参戦し、の戦いでアメリカ側の勝利が決定的になった。イギリスもアメリカの独立を承認せざるをえなくなり、これを機に植民地政策を転換するようになった。<sup>(5)</sup>

ただし、独立宣言によって即座に現在のアメリカ合衆国が成立したわけではない。アメリカ連合規約にしたがえば、独立国家となったはずのものは各州のゆるやかな連合体でしかなかった。連邦政府はヨーロッパ諸国による軍事的な脅威を取り除く権限を持たず、財政的にも行き詰まっていた。事態を打開すべく、で憲法制定会議が開かれる。強大な連邦政府によって各州の自治が脅かされるという異論も出たが、連邦政府の権限を強化し、権力分立と人民主権を規定して、最終的にアメリカ合衆国憲法は成立した。しかし、その後のアメリカ政治でも連邦政府の権限をどこまで認めるかは中心的な争点の一つであり続けた。<sup>(6)</sup>

設問1 文中の空欄 ① ～ ④ にあてはまる数字や語句を以下の語群から選びなさい。

〔語群〕

- |              |               |
|--------------|---------------|
| ① (ア) 1765   | (イ) 1773      |
| (ウ) 1776     | (エ) 1783      |
| ② (ア) ニューヨーク | (イ) ペンシルヴェニア  |
| (ウ) ヴァージニア   | (エ) ジョージア     |
| ③ (ア) ケベック   | (イ) ニューイングランド |
| (ウ) ヨークタウン   | (エ) レキシントン    |
| ④ (ア) ニューヨーク | (イ) フィラデルフィア  |
| (ウ) ボストン     | (エ) ワシントン     |

設問2 下線部(1)に関連して、自然法思想の著作とその著者の組み合わせとして、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 『戦争と平和の法』 — グロティウス
- (イ) 『統治二論』(『市民政府二論』) — ホッブズ
- (ウ) 『リヴァイアサン』 — ルソー
- (エ) 『社会契約論』 — ロック

設問3 下線部(2)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) イングランド銀行は、政府の国債を引き受けるため名誉革命前に設立された。
- (イ) 議会在チャールズ2世に対抗して制定した審査法によって、プロテスタントの一部も公職から排除されることになった。
- (ウ) 専制を強めるチャールズ2世のもと、王権を擁護するホイッグ党と議会の権利を主張するトーリ党という二つの党派が生まれた。
- (エ) 権利の章典は貴族の特権を定めた大憲章(マグナ=カルタ)を否定し、普通選挙による国民主権を確立した。

設問4 下線部(3)を含意する、植民地で唱えられたスローガンを日本語か英語で書きなさい。

設問5 下線部(4)に関して、独立宣言の抜粋を読み、その解釈として妥当ではないものを以下の選択肢(ア)～(カ)の中から1つ選びなさい。

世の成行として、ある人々がこれまで自分たちと他の人々とを結びつけてきた政治的な絆を解消し、自然の法や自然の神の法によって諸国に与えられている独立対等の地位を、世界の国々の中で主張することが必要になる場合がある。その場合、人類の意見をしかるべく尊重するのであれば、自分たちが分離せざるをえなくなった理由を表明すべきである。

我々は次の真理を自明のものとする。すなわち、全ての人間は平等につくられており、創造主によって誰にも譲ることのできない一定の権利を与えられている。その中には生命、自由、幸福の追求が含まれる。これらの権利を保障するため、人々の間に政府が設立される〔…〕。どんな形の政府であれこの目的を破壊するならば、いつでも国民はその政府を改めたり廃止したりし、新しい政府を設立する権利を持つ〔…〕。〔…〕権力の濫用と権利の侵害とが長年に及び、しかも一貫した目的のもとで行われていることから、国民を絶対的専制のもとに引き入れようとする意図が明らかかな時には、そのような政府を転覆させ、自らの将来の安全を守る新しい組織を作ることは、国民の権利であり義務である。こうした事態こそ、アメリカの諸植民地が耐え忍んできた苦痛だったのであり、従来政府の体制を改めざるをえない必要性を今や示している。大ブリテンの現国王の歴史は度重なる違法行為と権利侵害の歴史であり、その全てはこれらの諸邦〔注1〕の上に絶対的な暴政を確立することを直接の目的としてきた。このことを証明するために、ここに、公正な世界に向けて多くの事実を提示しようとするものである。

国王は、公共の福祉のために最も有益で最も必要である、様々な法律に同意することを拒んだ。〔…〕

国王は、〔アメリカの諸植民地の〕代議院〔注2〕が国王による国民の権利の侵害に対して雄々しくも反対したために、代議院を繰り返

し解散した。

国王は、このように解散した後、選挙によって新しい代議院を成立させることを長期にわたって拒んだ。〔…〕

国王は、司法権を設立するための法律に同意を拒むことで、司法の執行を妨げた。〔…〕

国王は、ブリテン本国議会と結託して、我々植民地の体制になじまず、また我々の法律が承認していない権限に我々を従属させた。国王は本国議会の次のような越権の立法に同意を与えたのである。

我々のもとに多数の軍隊を宿営させた。

その軍隊が諸邦の住民を殺害しても、偽りの裁判によって処罰を免れさせた。

我々が世界各国と通商することを禁止した。〔…〕

我々自身の立法を停止し、いかなる事項についても本国議会が我々に対して立法する権限を持つと宣言した。〔…〕

国王は、我々の海域を掠奪<sup>りやくだつ</sup>し、沿岸を破壊し、町を焼き、植民地の人々の生命を奪った。〔…〕

こうした圧制のたびごとに、我々はそれを正すよう、きわめて謙虚な言葉をもって請願してきた。だが、我々がいくら請願を繰り返しても、ただ権利侵害が繰り返されることで応じられたにすぎなかった。このように、どれも暴君の定義となるような行為をその特色とする君主は、自由な国民の支配者としては不適格である。〔…〕

以上の理由から、我々アメリカ連合諸邦の代表は〔…〕次のように厳粛に公布し宣言する。すなわち、これら連合植民地は自由で独立した国家であり、また当然そうあるべきである。連合植民地はブリテン国王への忠誠をいっさい解かれ、大ブリテンという国家との間の政治的な結び付きもすべて当然解消される。したがって、自由で独立した国家として、宣戦・講和し、同盟し、通商を結び、その他の独立国家として当然行いうるいっさいの行為をなす権限を持つ。神の摂理の加護を堅く信じつつ、この宣言を支持するために、我々は互いに、生命、

財産、神聖なる名誉を捧げ合うことを誓う。

(斎藤眞『アメリカとは何か』平凡社、1995年を参考に訳出した。〔 〕は問題作成者による補足、…は中略を表す。)

注1 「邦」は **state** の訳。憲法制定以前には各植民地は国家に準じる政治体であったため、アメリカ史学ではそう訳される慣例となっている。後に出てくる **united states** もこの時点では「連合諸邦」と訳される。

注2 植民地の立法機関である植民地議会は、多くの場合、自由民から選挙で選ばれる代議院と、国王または総督に選ばれた参議会の二院制をとった。

- (ア) 「人類の意見」や「公正な世界」への言及からは、独立宣言が「独立対等の地位」をすでに持っていたヨーロッパ諸国に向けて書かれたと考えられる。
- (イ) 政府が国民の生命・自由・幸福追求の権利を長期間継続的に侵害したときには、国民は政府を改めたり廃止したりする権利と義務があると主張されている。
- (ウ) イギリス国王が植民地の人々の権利を侵害してきた事実を提示することで、植民地が独立して新しい国家を作る「必要性」を正当化しようとしている。
- (エ) イギリス国王が植民地の権限を踏みにじる越権行為を犯してきたことを、本国議会に向けて証明し、本国議会に植民地選出の代議員を置くよう求めている。
- (オ) イギリス国王によって植民地議会在解散させられたり、植民地における司法の整備が妨げられたことが、暴政の例として非難されている。
- (カ) 「連合植民地」が独立国家になることで、本国とは無関係に、他国と戦争、講和、外交、通商を行う独自の権限を持つようになると主張されている。

設問6 下線部(5)に関連して、19世紀イギリスの植民地政策に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) インド大反乱の責任を問われ、東インド会社は中国貿易の独占権を失った。
- (イ) インドでは農民に土地所有権を認め、直接地税を徴収するザミンダリー制が導入された。
- (ウ) カナダがイギリス帝国内で初めての自治領となった。
- (エ) オーストラリア連邦や南アフリカ連邦、ニュージーランドが自治領とされた。

設問7 下線部(6)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 連邦政府の権限を抑制しようとしたワシントンに対し、連邦政府の権限を強化すべきだと訴えたトマス＝ジェファソンが第2代大統領に選ばれた。
- (イ) 19世紀半ば、保護関税政策を主張した北部に対し、南部は自由貿易政策を主張した。
- (ウ) 19世紀半ば、奴隷制に反対する北部に対し、南部は奴隷制が南部諸州独自の制度であり、各州の自治は尊重されるべきだと主張した。
- (エ) フランクリン＝ローズヴェルト大統領は、それまでの共和党政権での自由放任主義を転換し、連邦政府の権限を強化して積極的な経済統制をはかった。

4 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

1914年6月末、① 事件が起こるとヨーロッパの緊張は高まり、翌月にオーストリアがセルビアに宣戦した。他の列強諸国も参戦したことから戦争の規模は拡大し、第一次世界大戦が勃発した。戦争は予期せぬ長期戦となり、参戦各国は総力戦体制をとった。<sup>(1)</sup>1917年、アメリカ合衆国が連合国（協商国）側で参戦し、戦局は連合国側に有利となった。1918年11月には、ドイツ革命が起こり、<sup>(2)</sup>これにより成立した共和国政府は連合国と休戦協定を締結して大戦は終結した。<sup>(3)</sup>

1919年1月から開かれたパリ講和会議での議論を受けて各地で民族運動が活発となった。<sup>(3)</sup>また、イギリスの帝国再編の過程で ④ でも自治を求める声が高まり、1921年にイギリスはその一部を自治領として承認した。

一方、ドイツは連合国とヴェルサイユ条約を結び、他の旧同盟国も連合国と個別に講和条約を結んだ。<sup>(4)</sup>パリ講和会議によって決定されたヨーロッパの新秩序はヴェルサイユ体制と呼ばれる。敗戦国のドイツは多額の賠償金を課せられ、1923年からは賠償支払い不履行を口実としてフランスによって ② 地方が占領された。消極的抵抗を行ったドイツでは激しいインフレが生じたが、首相となった ③ がレンテンマルクを発行して経済を立て直した。その後、③ は国際協調外交を推進した。

しかし世界恐慌が広がると、国際協調の気運は急速に衰え、ファシズム諸国は対外進出によって状況の打開をはかるようになった。ドイツでは1932年の選挙でナチ党が第一党となり、翌年に首相に任命されたヒトラーがヴェルサイユ体制の破壊を進めた。1936年にスペイン内戦が起こると、ドイツはイタリアとともにスペインの反乱軍側を支援した。<sup>(5)</sup>1938年、ドイツはオーストリアを併合し、ミュンヘン会談の結果、チェコスロヴァキアの ④ のドイツへの併合が承認された。

1939年9月のドイツのポーランド侵攻をきっかけとしてイギリス・フランスはドイツに宣戦し、第二次世界大戦が勃発した。1941年6月には独ソ戦が始まり、同年末には太平洋戦争が開始されて戦争はアジア・太平洋地域に拡大した。戦局

は1942年夏まで枢軸国側が優勢であったが、連合軍は反撃に移り、次第に枢軸国側を追いつめるようになった。連合軍首脳は戦後を見据えて会談を重ね、1945年8月に日本が降伏したことで第二次世界大戦は終結した。敗戦後、ドイツはアメリカ、イギリス、フランス、ソ連の4カ国に占領されたが、日本はGHQに占領された。なお、沖縄は  年になるまで日本に返還されなかった。

設問1 文中の空欄  にあてはまる地名を書きなさい。

設問2 文中の空欄  ～  にあてはまる数字や語句を以下の語群から選びなさい。

[語群]

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| ① (ア) ドレフュス   | (イ) ブーランジェ      |
| (ウ) ファショダ     | (エ) サライエヴォ      |
| ② (ア) ルール     | (イ) キール         |
| (ウ) シュレジエン    | (エ) アルザス・ロレーヌ   |
| ③ (ア) シュトレゼマン | (イ) エーベルト       |
| (ウ) ヒンデンブルク   | (エ) カール＝リープクネヒト |
| ④ (ア) ザール地方   | (イ) ダンツイヒ       |
| (ウ) ズデーテン地方   | (エ) プラハ         |
| ⑤ (ア) 1952    | (イ) 1962        |
| (ウ) 1972      | (エ) 1982        |

設問3 下線部(1)に関して、第一次世界大戦前のヨーロッパ情勢に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) パン＝ゲルマン主義を掲げるドイツの後押しによって、バルカン同盟が結成された。
- (イ) ドイツの脅威に対抗するべく、エジプトでのイギリスの優越権とモロッコでのフランスの優越権を認める英仏協商が結ばれた。
- (ウ) 青年トルコ革命に乗じて、セルビアはボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合した。
- (エ) アルバニア系住民の独立運動を経て、コソヴォがセルビアから独立した。

設問4 下線部(2)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) スパルタクス団の蜂起を端緒としてドイツ革命が始まった。
- (イ) 各地で中産階級の市民が中心になって評議会（レーテ）を結成した。
- (ウ) ドイツ革命の結果、社会民主党と共産党の連立政権が作られた。
- (エ) ドイツ革命により、皇帝ヴィルヘルム2世はオランダに亡命した。

設問5 下線部(3)に関連して、第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸国に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) インドでは、国民会議派のネルーら急進派がプールナ＝スワラージ（完全独立）を決議した。
- (イ) ベトナムでは、ファン＝ボイ＝チャウが維新会を結成した。
- (ウ) アラビア半島では、レザー＝ハーンがヒジャーズ王国のフセイン（フサイン）を破った。
- (エ) エジプトでは、民族主義政党のタキン党が結成された。

設問 6 下線部(4)に関して、旧同盟国と連合国が結んだ講和条約の組み合わせとして、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) オーストリアーヌイイ条約
- (イ) ブルガリアーセーヴル条約
- (ウ) ハンガリーートリアノン条約
- (エ) オスマン帝国ーサン＝ジェルマン条約

設問 7 下線部(5)に関連して、スペイン内戦に際し、国際義勇軍に参加した経験から『カタロニア賛歌』を著したイギリスの作家として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) マルロー
- (イ) ヘミングウェイ
- (ウ) オーウェル
- (エ) トーマス＝マン

設問 8 下線部(6)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) イギリスのチャーチル首相とアメリカ合衆国のフランクリン＝ローズヴェルト大統領は大西洋上で会談を行い、大西洋憲章を発表した。
- (イ) テヘラン会談では、米・英・中の首脳が参加し、第二戦線の結成が決定された。
- (ウ) ヤルタ会談では、米・英・ソの首脳が参加し、ドイツの戦後処理の大綱やソ連の対日参戦などが決定された。
- (エ) ポツダム会談では、米・英・ソの首脳が参加し、日本の無条件降伏や戦後の処遇について討議された。